

## 平成29年度大学の世界展開力強化事業 審査結果表

大 学 名	東京外国語大学	タイプ・国名	A・ロシア
事 業 名	日露人的交流の飛躍的拡大に貢献する TUFSS 日露ビジネス人材育成プログラム		
海外の相手大学	モスクワ大学、モスクワ国立国際関係大学、ロシア国立人文大学、国立研究大学高等経済学院、サンクト・ペテルブルク国立大学、極東連邦大学		

### 〔評価コメント〕

本事業計画は、学部前半の学生が対象の短期留学、学部後半の学生が対象の交換留学並びに日露双方の学生が対象のインターンシップから構成され、日露双方で「国際日本学」「国際ロシア学」を学習することを柱としており、交流する学生数についても大きな計画をもつプログラムである。質の保証の点でも、単位の実質化に配慮し、日本人学生に対しては言語能力の達成目標について英語のみならず、ロシア語の目標も設定するなど、環境整備に努めている。特にインターンシップについては、日露両国の需要を踏まえた多様なプログラムが準備され、双方向のプログラムを構築しようとしている点が特徴的である。

こうしたプログラムは、貴学の従来語学教育の実績を踏まえたものであり、日露双方の学生に対してトライリンガルの育成に努めることや、モスクワ在住のOB・OGを中心とする同窓会のネットワークを活用するなど、活動の展開方法には貴学ならではの特徴と工夫がみられる。

本年度の大学の世界展開力強化事業では、日露経済協力プランの実現を支える実学の重視が大きな特徴となっている。その意味では本事業の中心テーマでもある「日露ビジネス人材」は特に注目される部分であり、養成しようとしている人材像を明確にした上で、着実な実施と成果が期待される。そのためには、交流する相手大学6校との間の単位互換の整備についても、的確に調整を行った上で、目標としている規模の大きな日露交流の実現に期待する。

最後に、今回選定された貴学においては、将来の我が国と相手国との関係を見据え、質保証を伴う国際教育連携の先導的モデルに中心となって取り組む拠点大学であるということの意義とその責任、期待の重さを認識し、事業内容の実現に向け真摯に取り組まれることを強く要請する。